

基盤技術研究促進事業(民間基盤技術研究支援制度)

平成 22 年度中間評価結果

平成 22 年 12 月 10 日

技術開発推進部

平成 22 年度は、平成 20 年度採択の 1 プロジェクトに対して中間評価を実施した。

総合評価結果 及びその対応は、以下のとおりである。

【総合評価結果とその対応基準】

総合評価	総合評価対応
S	委託者の希望に応じ、可能な範囲で積極的な推進を図る
A	原則として現状の計画に沿って、継続案件とする
B	研究を精査・再構築することを条件に継続案件とする
C	中止する

【中間評価結果】

分野	受付番号	テーマ名	委託先	総合評価	技術評価所見	事業化可能性評価所見
社会基盤	20K001	先進操縦システム技術開発	三菱航空機株式会社	S	<p>輸送機器開発の最も重要な技術課題の一つである先進操縦システムに関して先端的な研究を実施している。</p> <p>グローバルな連携により研究開発が実施され、研究終了後の開発体制も十分検討されており、研究成果の費用対効果も期待できる。インテグレーションという複雑で経験則的な技術が大きな成果物であるから、特許等の知財獲得は難しいと思われるが、得られた知見の分析や整理は研究実施中にも十分配慮いただきたい。</p>	<p>全体の開発期間の中で、本プロジェクトの進捗は、概ね計画通りに進んでいるように思われる。本プロジェクトは「技術戦略MAP」でも位置づけられ、産業政策上、きわめて重要な分野である。</p> <p>しかしながら、これまでの経緯から判断すれば、開発と事業化のスピード感、更に全体的な意志決定のスピード感に若干の物足りなさを感じる。操縦システムの技術開発は時間を要するとはいえ、経済の変化が加速している現代においては、スピード感が重視されるべきと考える。</p> <p>長期にわたる開発で、事業化、販売計画において、このような外部環境の変動リスクについても、念頭におかれるべきと考える。</p>